

5. 柔道競技

令和7年度 宮崎県高等学校定時制通信制体育大会 第53回柔道競技大会兼第54回全国定通体育大会県予選会実施要項

- 1 主 催 宮崎県高等学校体育連盟・宮崎県教育委員会
- 2 後 援 宮崎日日新聞社
宮崎県高等学校定時制通信制教育振興会
宮崎県高等学校定時制通信制教育協議会
- 3 主 管 宮崎県高等学校体育連盟定通部
- 4 期 日 令和7年 6月 1日(日)
競技別開始式 9:30～(大宮高校武道場)
※ 選手は計量・道着コントロールを9:15から道場にて行います。
その後、「監督・審判員会議」を行います。
- 5 会 場 宮崎大宮高校武道場(体育館2階)
- 6 試合規定 国際柔道連盟試合審判規定並びに(公財)全国高等学校体育連盟定時制通信制部
柔道専門部申し合わせ事項による。
- 7 参加資格 宮崎県高等学校定時制通信制体育大会実施要項による。
(柔道三段以下の者とする。)
- 8 参加規定 (1) 団体試合は1校1チームとし、男子は選手5名・補欠2名以内、女子は選手
3名・補欠2名以内とする。
(2) 個人試合男子は4階級(軽量65kg以下・軽中量75kg以下・中量90kg以下・重
量90kg超)とし、各階級1校2名までとする。(選手は団体戦と個人戦を兼
ねてもよい。)
個人試合女子は3階級(軽量52kg以下・中量63kg以下・重量63kg超)とし、
各階級1校2名までとする。
- 9 試合方法 試合時間は団体・個人とも3分間とする。勝敗の判定基準について、団体戦は
「一本」「技有」「有効」「※僅差」とし、得点差が無く、かつ「指導」差が1
以内の場合「引き分け」とする。
※「僅差」とは、双方の選手間に技による評価(技有以上)がない、又は同等の
場合、「指導」差が2以上あった場合に少ない選手を「僅差」による優勢勝ち

とする。

個人戦における判定基準は「一本」「技有」「有効」「僅差」とする。

又は同等の場合は時間無制限の延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。（詳細については、監督会議にて確認する。）

10 表彰 団体2位、個人3位までとする。

11 申込方法 (1) 申込先 競技事務局宛
延岡青朋高等学校通信制 甲斐清張 宛
ミライムで提出

(2) 申込締切
データ締切：令和7年5月15日（木）
原本締切：令和7年5月20日（火）必着
（公印を押印）

12 組合抽選 大会実行委員会で行う。

13 取得資格 (1) 団体試合については上位入賞者の中から選考委員会の推薦により全国大会の出場資格を得る(国体方式：選手男子7名（選手5、補欠2）、女子5名（選手3、補欠2）以内

(2) 個人試合男子については、各階級1位の選手が全国大会の出場資格を得る（2位の選手が補欠）

(3) 個人試合女子については、各階級に人数制限は設けない。

14 その他 (1) 競技中の疾病傷害等の応急処置については主催者側で行うが、以後は独立行政法人日本スポーツ振興センターの規程に従って各学校で処置すること。

(2) 参加者は健康保険証を持参すること。

(3) 出場者は引率責任者によって引率されること。

(4) 以下①～④の条件に該当する生徒は、原則として参加を認めない。

①当該年度に全国高等学校柔道大会及び予選（県大会）の出場者及び出場校

②令和6（2024）年8月5日～令和7（2025）年8月2日までに柔道の各種大会（高校生以上を対象とし、都道府県予選のある全国大会）に出場した生徒。

③高等学校卒業の資格を有し、在学中に全国高等学校柔道大会、全国高等学校柔道選手権大会へ出場した生徒（H14年度改定）

④全日本柔道連盟に未登録、または柔道の段位が講道館四段以上の生徒

※「高体連危機管理マニュアル」をご覧になり、感染防止対策等を御理解の

上、大会運営に御協力ください。